

## 実践事例2 6年「病気の予防2（たばこの害）」

### 体育科学習指導案

#### 授業仮説

実験や具体的な資料によって喫煙の健康に及ぼす害について児童に考えさせるとともに、喫煙を誘われたときの断り方を練習させることにより、自分の健康を自分で保持・増進しようとする態度や実践力を育てることができるだろう。

#### 1 単元名 「病気の予防2（たばこの害）」

#### 2 教材の価値

たばこを吸い始めるきっかけは、喫煙の害を正しく理解しないまま、なんとなく興味をもってみたり、友だちに誘われたりするケースが多いようである。児童が生涯にわたって喫煙せず、健康な生活を営んでいこうとする態度を身に付けていくためには、「なんとなく健康に良くない」といった漠然とした知識ではなく、たばこの害についての具体的な正しい知識をもつことが大切だと考える。中学に入学すると、喫煙の誘惑が増えることが予想される。誘惑が多くなる前に、子ども自身がたばこの害についての正しい知識を得て、さらに、喫煙を勧められたときの断り方などのライフスキル（自分を守る技術）を高めることが必要である。そうすることで、自分の健康を自分で守ろうとする児童が育つであろう。

#### 3 研究とのかかわり

生涯にわたって健康な生活をするために、健康に害を及ぼす習慣への正しい知識を与えることにより、自分の健康を自分で保持・増進しようとする態度や実践力を育てることをねらいとする。

#### 4 単元関連図

総合単元的な体育（保健）学習の計画（6年）

学校教育目標：心豊かで生き生きと活動する児童の育成

学校保健目標：1人1人が自分の体と生活を見つめ、自ら心身の健康を保持・増進していこうとする児童の育成

研修テーマ：「自ら健康な生活をしていこうとする児童の育成」  
- 健康意識を高める指導の充実をめざして -

総合単元名「病気の予防」

ねらい：病気の予防のためには病原体に対する体の抵抗力を高めること、及び、望ましい生活習慣を身に付けることが必要であることがわかり、生活の中で実践できる態度を育てる。

体育（保健）  
 「病気の予防」  
 ・病気とその起こりかた  
 ・病原体と病気  
 ・生活のしかたと病気  
 ・飲酒の害

理科「動物のからだのはたらき」（５月）  
 ねらい：生物の体のつくりと働き及び生物と環境とを関連付けて調べ追求する活動をとおして生命を尊重する態度を育てる。

---

学級活動「輝け命」（１１月）  
 ねらい：体や心の発達について理解するとともに、自他の生命尊重の精神を養う。

本時：たばこの害  
 ねらい・喫煙が心身の健康に及ぼす害について理解できる。  
 ・喫煙をしないという強い意志を育て、勧められた場合の効果的な断り方を身につける。

体育（保健）  
 「病気の予防」  
 ・薬物乱用の害

道徳 思いやり・親切  
 友情・信頼  
 生命尊重

---

社会 みんなの願いを実現する政治（１２月）

---

学級活動 大切な友だち（１月）

家庭地域との連携  
 ・学校だより  
 ・青少年健全育成会議  
 ・地区別子ども会

評価・反省  
 病気の予防のためには病原体に対する体の抵抗力を高めること、及び、望ましい生活習慣を身につけることが必要であることがわかり、生活の中で実践できる態度を育てることができたか。

5 本時の学習（たばこの害）

(1) ねらい

喫煙が心身の健康に及ぼす害について理解できる。  
 喫煙をしないという強い意志を育て、勧められた場合の効果的な断り方を身につける。

(2) 準備

たばこ，ミミズ，シャーレ，実物投影機，プロジェクター，パソコン，フラッシュカード，プレゼンテーションソフトによる資料

(3) 展開

| 学習活動・教師の支援   |                     |
|--|---------------------|
| (T1：担任)  | (T2：養護)             |
| 1 たばこの害について，どんなことを知っているか発表する。(2分)<br>(ガン，肺ガン，肺が黒くなる)<br>友だちがたばこについて，どんなイメージを持っているかを知る。   |                     |
| ・たばこの害やたばこのイメージについて考えさせ，学習への意欲付けをする。   |                     |
| 2 ミミズによる，たばこの毒性についての実験を観察する。(6分)<br>たばこを浸した水をかけられたミミズの様子を観察する。<br>(ミミズを血管に置き換えて，たばこが血管を収縮させることを知る)   |                     |
| ・演示実験を行う。<br>・ミミズと血管の関係について説明する。   | ・たばこの急性の影響について説明する。 |
| 3 たばこの心身に与える害について，具体的に理解する。(17分)<br>副流煙と害になる成分について。<br>どんな病気になりやすくなるか。<br>(こう頭がん，肺ガン)<br>発育期は特にたばこの影響を受けやすいこと。<br>一度吸うと，なかなかやめられなくなること。<br>( ゲストティーチャーの話)<br>健康な肺とたばこで汚れた肺の比較。 |                     |



**支援・指導の工夫**  
ミミズを血管に見立てた実験を行うことによって，たばこの害を実感を伴って理解できるようにした。( 生命尊重の観点から，ミミズは実験後に逃がしてやることを伝えた。)  
実物投影機を使い，視覚に効果的に訴えることによって，たばこの害を具体的に理解できるようにした。

**支援・指導の工夫**  
たばこの習慣性についての説明の場面では，ゲストティーチャーの「やめられない」という生の声を児童に聞かせることによって，習慣性の怖さを実感させた。  
担任と養護教諭との連携を密にして，TTで説明を行った。専門的な見地の説明は養護教諭が担当し，児童の理解がより深まるようにした。  
プレゼンテーションソフトを使い，視覚に効果的に訴えることによって，たばこの害を具体的に理解できるようにした。

|  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこの影響を考慮するきっかけとして、ミミズの実験を思い起こさせる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトにより資料を提示し、児童の理解を助ける。</li> <li>・資料の説明を行う。</li> </ul>                |
| <p>4 たばこを勧められたときに断る練習をする。(15分)</p> <p>上級生に勧められた場合の断り方を考え班別にロールプレイングを行う。(上級生の役はゲストティーチャーが演じる。)</p>  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・断り方のコツをカードにして黒板に貼り、児童の理解を助ける。</li> <li>・どんな断り方をするのかお手本を演じ、ロールプレイングの意味を教える。</li> <li>・各グループを巡視し練習が進むように支援する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな断り方をするのかお手本を演じ、ロールプレイングの意味を教える。</li> <li>・各グループを巡視し練習が進むように支援する。</li> </ul> |
| <p>5 感想をワークシートにまとめる。(5分)</p>   |  |



**支援・指導の工夫**

喫煙を勧められた時の断り方を身に付ける段階では、ロールプレイングを取り入れ、学習効果を上げるために、ゲストティーチャーとして喫煙を勧める上級生役を教師が演じた。

(3) 評価

喫煙が心身の健康に及ぼす害について理解できたか。

たばこを勧められた場合の効果的な断りかたが身に付いたか。

6 授業を終えて

- ・指導案検討会や予備授業を行ったことで、授業の視点が明確になり、内容が精選され、ねらいが充分達成できた。
- ・指導時期を検討し総合単元的な授業を組み立てたことで、ねらいに効果的に迫ることができた。
- ・たばこの害をミミズを用いて視覚でとらえさせたことは、「たばこは怖い」ということを分からせるのに効果的であった。また、パソコンのプレゼンテーションなど教材教具を十分検討し、用意したので、効果的に視覚に訴えることができた。
- ・TTを行ったことで養護教諭の専門的な知識が生かされた。ロールプレイの場面で多くの教師がGTとして加わったことにより、真に迫った体験活動ができた。